

## 令和6年12月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年12月分について、輸出額は「自動車」などが増加したものの、「石油製品」、「電気回路等の機器」などが減少したことから、対前年同月比3.5%の減少となった。また、輸入額は「非鉄金属鉱」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「液化石油ガス」などが減少したことから、同5.6%の減少となった。

その結果、差引額は1,149億円（同7.4%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	1,070億円	▲3.5%	2,220億円	▲5.6%	▲1,149億円	▲7.4%
	5カ月連続の減少		3カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	230億円	+77.6%	増加品目	(1) 非鉄金属鉱	47億円	29倍	
		(2) 映像機器	33億円	+342.2%		(2) 液化天然ガス	454億円	+10.2%	
		(3) 写真用・映画用材料	29億円	+33.0%		(3) 石炭	46億円	+58.1%	
	減少品目	(1) 石油製品	69億円	▲63.6%	輸入	(1) 原油及び粗油	1,093億円	▲23.8%	
		(2) 電気回路等の機器	64億円	▲32.8%		(2) 液化石油ガス	85億円	▲9.2%	
		(3) 自動車の部分品	78億円	▲16.2%		(3) 電気回路等の機器	3億円	▲55.5%	
	地域別動向	アジア、大洋州が減少、西欧は増加			地域別動向	中東、中東欧・ロシア等が減少、アジアは増加			

（参考）ドルレートは、152.48円（前年同月比3.8%、5.56円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。